



最新の国内ユニファイドコミュニケーション / コラボレーション市場予測を発表

Japan, 2019年5月20日 - IT専門調査会社 IDC Japan 株式会社（所在地：東京都千代田区九段北1-13-5、代表取締役社長：竹内正人、Tel代表：03-3556-4760）は、国内ユニファイドコミュニケーション / コラボレーティブアプリケーション（UC&C）市場を調査し、2018年の同市場の分析と2019年～2023年の市場予測を発表しました。

IDCでは、国内UC&C市場を「IPテレフォニー」「コラボレーティブアプリケーション」「IPコンファレンスシステム」「IPコンタクトセンターシステム」の4つの市場に分類し、分析と市場予測をおこなっています。2018年の同市場は、ベンダー売上額ベースで前年比成長率6.0%の2,813億1,600万円になったとIDCでは推定しています。また、同市場は、働き方改革によるリモートからの業務遂行需要の継続によって、2018年～2023年の年間平均成長率（CAGR：Compound Average Growth Rate）が2.4%、2023年の市場規模は3,173億900万円に成長すると予測しています。

2018年のIPテレフォニー市場は前年比0.6%増、876億7,900万円でした。同市場は、2016年～2017年は売上額ベースの市場規模がマイナス成長となりましたが、2018年は官公庁 / 自治体などでの大型案件があり、プラス成長に転じました。2019年から2020年の前半にかけては、ラグビーワールドカップ、東京オリンピック / パラリンピック開催に向けた音声通信基盤整備の需要が活発になり、市場はプラス成長を維持すると予測します。2020年後半以降は2019年までに更新した音声基盤への投資が減速すると予測しており、再びマイナス成長になると予測します。

2018年のコラボレーティブアプリケーション市場は前年比13.2%増、954億3,100万円となり、好調に推移しました。好調の要因は、政府 / 民間をあげて推進されている「働き方改革」によるモバイル環境での電子メールシステムやグループウェアシステムの活用を背景とした、ファイル同期 / 共有ソフトウェアなどクラウド主体の市場の成長であるとIDCではみています。2019年以降も、労働人口減少 / 人手不足対策などによってこの傾向は継続し、クラウド化したコラボレーティブアプリケーション市場が成長拡大していくことで、堅調な市場成長を維持すると予測しています。

2018年のIPコンファレンスシステム市場は前年比5.1%増、422億6,700万円でした。同市場は、大規模ビデオ会議システム導入の一巡感によって、小規模システムへのシフトが2017年から発生していますが、Web会議サービスは依然として高成長を維持しており、働き方改革によるリモートサイトからの業務遂行を目的としたビデオコミュニケーションのパーソナル化が進んでいます。2019年以降は、東京オリンピック / パラリンピック

向けのビデオを活用した顧客サポート / ビデオによる監視などの大規模需要が見込まれること、働き方改革の推進によるリモートからの業務量増加に伴って、堅調に成長すると予測します。

2018年のIPコンタクトセンターシステム市場は前年比4.2%増、559億3,900万円でした。同市場は、2016年以来、案件の長期化や小型システムの増加によって成長が鈍化していましたが、2018年は大型案件の受注があったため、成長率が増大しました。2019年～2020年は東京オリンピック / パラリンピック向けの顧客サポート強化需要が見込まれ堅調な成長を予測しています。しかし国内イベント後の2020年後半以降は、前年までの投資の反動やクラウドサービスへの移行加速に伴い、成長率は鈍化すると予測します。

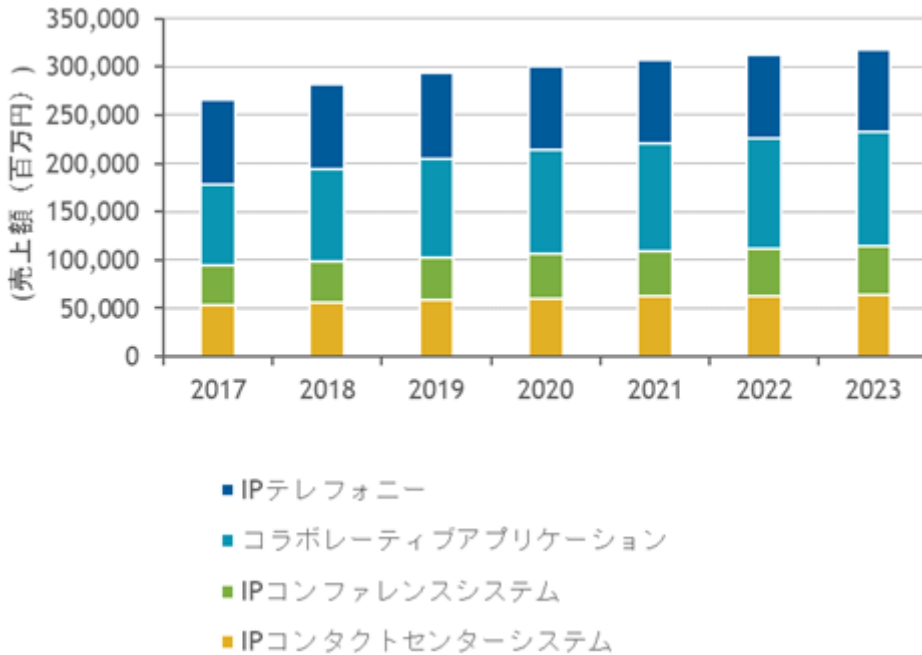
国内UC&C市場ではクラウド化が加速しており、SaaS型UC&Cサービスの市場は、2018年～2023年のCAGR 6.2%と、国内UC&C市場全体の成長と比較して高い成長率で推移すると予測します。

IDC Japan グループディレクターの眞鍋 敬 は「国内ユニファイドコミュニケーション / コラボレーション市場が今後も成長していくために、ITサプライヤーはUC&C機能を提供するプラットフォームの統合、アプリケーション間のデータ連携、働き方改革を軸としたUC&Cによるビジネスコミュニケーションをパートナーと共にいっそう進めるべきである」と述べています。

今回の発表はIDCが発行した[国内ユニファイドコミュニケーション / コラボレーション市場予測、2019年～2023年](#)にその詳細が報告されています。本調査レポートは、国内のUC&C市場を4つのサブ市場に分類し、それぞれの分野の売上額実績と予測を記載しています。

< 参考資料 > 国内ユニファイドコミュニケーション / コラボレーション市場 売上額予測、2017～2023年

Figure 1



Source: IDC Japan, 5/2019

About IDC

IDC is the premier global provider of market intelligence, advisory services, and events for the information technology and telecommunications industries. IDC helps IT professionals, business executives, and the investment community make fact-based decisions on technology purchases and business strategy. Over 775 IDC analysts in 50 countries provide global, regional, and local expertise on technology and industry opportunities and trends. For more than 40 years, IDC has provided strategic insights to help our clients achieve their key business objectives. IDC is a subsidiary of IDG, the world's leading technology media, research, and events company. You can learn more about IDC by visiting <http://www.idc.com/>.

IDC is a subsidiary of IDG, the world's leading technology media, research, and events company. Additional information can be found at www.idc.com.

All product and company names may be trademarks or registered trademarks of their respective holders.

For more information contact:

jp-Press Japan

jp-press@idcjapan.co.jp

+81-3-3556-4768